

- Ginowan Museum -

はくぶつかん ネット



第39号

入館者2,003人!

ぎのわん 昔のおもちゃ展!大盛況!!

2010年

9月~1月号

年3回発行<5、9、2月>発行



おもちゃを見る子ども達

発行:宜野湾市立博物館

<TEL>098-870-9317

<FAX>098-870-9316

〒901-2224

宜野湾市真志喜 1-25-1

ホームページ

<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>



博物館キャラクター
天女ちゃん♡

平成22年7月21日(水)~8月21日(日)まで、考古学資料から現代までの沖縄のおもちゃを展示した企画展、「ぎのわん昔のおもちゃ展~見よう!遊ぼう!ぎのわんおもちゃ箱~」を開催いたしました。

夏休み中の企画展とあって、子ども達や家族連れ、学童やデイサービスの方々など多くの方々に見ていただき、入館者数は延べ2,003人!大盛況でした。来館して下さった皆様、ありがとうございます。

今回の企画展は、子ども達に昔のおもちゃを知ってもらおうと同時に、大人も学べる展示会にすることが目的でした。考古資料や郷土玩具も展示することで子どもだけでなく、大人からも「昔の人がこんなおもちゃで遊んでいたなんて初めて知った。」「勉強になりました。」などの感想をいただき、企画展の目的は達成できたと考えています。また、家族連れの方々が、それぞれ自分が遊んでいたおもちゃの前で立ち止まり、子ども達に説明をしたり、子どもに戻ってメンコで遊ぶお父さんたちの姿が多く見られたことが印象的でした。

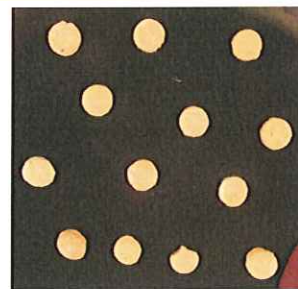
本企画展を開催するにあたり、沖縄県立博物館・美術館をはじめ、県内公私立博物館から貴重な資料を貸していただきました。この場を借りて、心から御礼申し上げます。

当館では、11月3日(水)~12月27日(月)まで、秋の特別展「ぎのわん 暮らしのルーツ! (仮)」が開催されますので、皆様のご来館をお待ちいたしております。

おもちゃ展に学ぶ 紙メンコの歴史!!

おもちゃ展では、戦後から現在までのメンコが展示されていました。おもちゃ展に来た人も、来れなかった人も、もう一度、戦後パッチーの歴史を振り返ってみましょう！

メンコの始まりは、江戸時代中期に誕生した泥メンコでした。その後、土から鉛、そして紙メンコへと変化します。みなさんが良く知っている紙メンコは明治時代ごろに誕生しました。古くから子ども達に愛されてきたメンコは、戦後も変わらず子ども達の大事な遊び道具となります。



泥メンコ



☆昭和 20～30 年代

戦後すぐのメンコは進駐軍や西部劇、野球、当時のマンガ、映画スターの絵柄などが流行します。明治から人気のあった武将の絵柄は、GHQ（連合国総司令部）によって時代劇などが禁止されていたために影をひそめていましたが、1952（昭和27）年にGHQが廃止されると時代劇が復活し、武将メンコも復活しました。

昭和30年代に入るとこれらの絵柄に加えて、テレビや映画の影響から「映画俳優」や「月光仮面」、「赤胴鈴之助」などのTVやマンガ・アニメの絵柄が登場します。

☆昭和 40～50 年代

昭和40年代、「ウルトラマン」や「仮面ライダー」といった特撮ヒーローが誕生しました。特撮ヒーローのメンコには写真が使われ、子ども達の人気を集めました。アニメでは「マジンガーZ」や「ドラえもん」、「怪物くん」などが登場します。この頃になると、武将の絵柄は人気落ち、駄菓子屋のクジの景品として残っていきます。

昭和50年代になると鉄道やスーパー・カーのメンコが登場します。アニメではSFアニメが大ブームを巻き起こし、「宇宙戦艦ヤマト」、「機動戦士ガンダム」などの絵柄が子ども達の人気を集めました。この頃になると、メンコとして遊ぶというよりも、カードとしてコレクションする色合いが強くなっていきます。



☆昭和 60 年～平成

昭和60年代から平成の初めごろには、映画スターのメンコや武将のメンコは影をひそめ、ヒットアニメの絵柄が多くなります。「聖闘士星矢」、「ドラゴンボール」、「キン肉マン」という『少年ジャンプ』のアニメのメンコが多く作られました。

昭和60年代までは、多くのメンコが作られていましたが、平成に入ると少しずつ少なくなり、遊び方の説明書が入ったキレイな箱で売られるようになりました。

現在では郷土玩具として100円ショップや駄菓子屋などに売られていますが、メンコ本来の使い方では遊ぶ子どもは、ほとんど見かけなくなりました。これを機会に、メンコを始めてみませんか？

博物館の活動報告！(春・夏編)

★戦争の悲惨さ、平和の大切さを学びました！ ●●●

6月16日(水)から7月4日(日)まで、慰霊の日企画展「沖縄戦 戦場になった宜野湾」(文化課市史編集係企画)を開催しました。

沖縄戦から65年が経過し、戦争体験者も減少の一途をたどっています。戦争の記憶を風化させないためにもこの企画展をとおして沖縄戦を振り返り、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考えてみました。

今回は、沖縄戦の中でも宜野湾での戦闘状況を中心に、写真パネル等を用いて展示しました。会期中、関連イベントとして6月29日(土)に当館で「歴史の証言 宜野湾の戦(イクサユ)」を語る」と題して市民講座を開催しました。

講演者は知花清徳さん(昭和7年生、嘉数出身)と、仲村元惟先生(宜野湾市史編集委員会 委員長)で、知花さんからは自身の戦争体験を、仲村先生からは宜野湾を中心とした沖縄戦について、ご講演いただきました。

宜野湾市においても第二次世界大戦で5,400人余りの方が亡くなりました。二度と戦争を繰り返さないためにも、慰霊の日企画展の継続的な開催は必要であり、戦争体験者から聞き取りは急を要することをあらためて感じさせられました。



展示室の様子

★博物館市民講座 ●●●

今年度の市民講座が始まりました♪これまで「宜野湾の戦世を語る」「琉球王国と宜野湾」「宜野湾の高台のつくりと水の出るしくみ」といったテーマで学んできました。室内の講座では、沖縄戦当時の宜野湾の様子や、宜野湾などの間切が新設・再建されるまでについて学び、多くの方から「平和に向けて努力しなければいけない」「地域の歴史について学ぶことができてよかった。」といった感想が寄せられ、屋外の講座では、宜野湾の地形や湧き水などについて学び、「水や自然を大切にしなければと考えさせられた」といった感想が寄せられました。

今年度は、昨年よりも多くの皆さまにご参加いただき、とても嬉しく思っています。今後もさまざまなテーマの講座が続きますので、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております(詳しくは8面)。



宜野湾の高台のつくりと水の出るしくみ(講師:大城逸朗氏)



琉球王国と宜野湾(講師:田名真之氏)

博物館の活動報告！(春・夏編)

★わらば～体験じゅく開講！！

6月26日(土)に、「第11期わらば～体験じゅく」が開講しました。第1回の開講式では、博物館探検を行い、博物館の展示を見たり、博物館のお仕事を学びました。今年も元気いっぱいのわらば～達と一緒に、7月には「昔のおもちゃ作り」、8月には「田いもの植え付け」を体験しました。

市内の各学校から集まったわらば～達ですが、たった3回の活動を経て、今ではみんな仲良しになっているようです。わらば～体験じゅくの活動は、来年の2月まで。今後のわらば～の成長が楽しみです。



開講式にて知念勇館長と一緒に指で数の数え方を学ぶわらば～

★夏休み子ども博物館教室！！

夏休みの自由研究をサポートすることを目的とした体験教室として、「子ども博物館教室」が開催されました。全部で2回の体験教室では、7月25日(日)には「昔のおもちゃ作り」、8月8日(日)には「漆喰シーサー作り」が開催されました。「昔のおもちゃ作」では、アダンとソテツ葉っぱを使った昔のおもちゃを作り、「漆喰シーサー作り」では、シーサー作りの先生を呼んで、子ども達がデザインした、世界に一つしかない自分だけの漆喰シーサーをみんなで作りしました。

昔のおもちゃやシーサーのことを学びながら体験した今回の教室で、自由研究のネタは見つかったかな？



漆喰シーサー作りを指導する比嘉和行先生

NEWS!!

たかまどのみや

高円宮妃殿下お成り

8月4日(水)に高円宮妃殿下が、ご来館しました。高円宮妃殿下は、「美ら島沖縄総体2010 平成22年度全国高等学校総合体育大会」で、宜野湾市が会場となったアーチェリー競技(妃殿下は(社)全日本アーチェリー連盟の名誉総裁)の関連でご来県、その滞在中に当館をご訪問しました。

博物館では、宜野湾市の歴史と民俗を展示した常設展示室と、企画展「ぎのわん昔のおもちゃ展」をご見学しました。

妃殿下は、知念館長をはじめとする係員の説明に、熱心に耳をかたむけていました。



高円宮妃殿下、ご見学の様子

芸術の秋！ 文化財図画作品展開催！

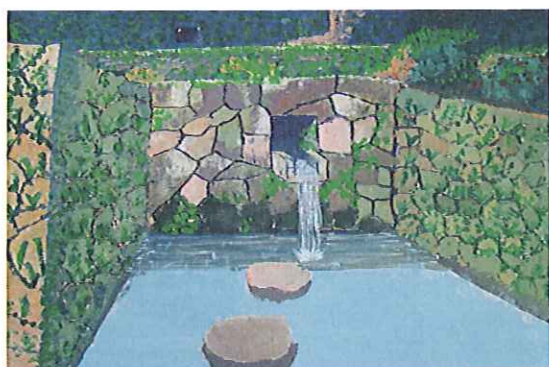


今秋、「第19回 ぎのわんの文化財図画作品展」を開催します。市内小学校3～6年生・中学生が宜野湾の文化財・名所旧跡地・伝統芸能などを描いた図画作品の入賞作品を展示いたします。

ここでは各部門の教育長賞の写真を掲載いたします。企画展では各部門ごとの教育長賞・金賞・銀賞・銅賞、入賞作品が全て展示されております。ぜひ、博物館に足を運んで子ども達が描く、宜野湾の名所・文化を見てみませんか？

教育長賞 受賞作品

小学校中学年の部



成海 綾香(普天間第二小学校 4年)

森
の
川

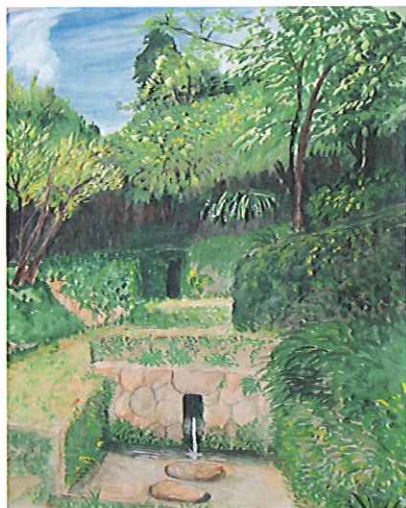
小学校高学年の部



大浜 美穂(志真志小学校 6年)

我
如
古
ヒ
ー
ジ
ャ
ー
ガ
ー

中学校の部



津嘉山 正成(普天間中学校 3年)

森
の
川

◆応募概要◆

- ☐ 小学校中学年の部・・・72点
- ☐ 小学校高学年の部・・・56点
- ☐ 中学校の部・・・・・・・・・・51点



合計179点



たくさんのご応募ありがとうございました！

入場無料！

◇期 間 10月1日(金)～10月18日(月) ※火曜・祝日は閉館

◇時 間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

◇場 所 宜野湾市立博物館 企画展示室

◇移動展 平成22年10月20日(水)～10月28日(木) ※土日は閉庁 各部の教育長賞と金賞の作品を展示します。
場所: 宜野湾市役所本庁ロビー 午前8時30分～午後5時

特別展 掘り出されたぎのわん昔のくらし！

11月からばく達のくらしを紹介する展示会がはじまるよっ！
あなたの知らない宜野湾がここに…！？



安座間原人

大昔の暮らしから私たちに“つながる”ものはあるのか？

宜野湾市内の遺跡を中心に現在までの食・住を紹介します。

☆ 展示会の前に、ちょっとだけ内容の一部を教えちゃいます！ ☆

～6500年前から現代までの住居の変遷～

○貝塚時代(約6500年前～900年前)

本土では、縄文時代～平安時代にあたる年代を貝塚時代と言います。この時代の人びとは竪穴住居（たてあなじゅうきょ）と呼ばれる住居に住んでいました。この住居は地面を掘り下げ、木を組み合わせ、屋根を作り、茅など植物質の材料で屋根を葺いた住居です。

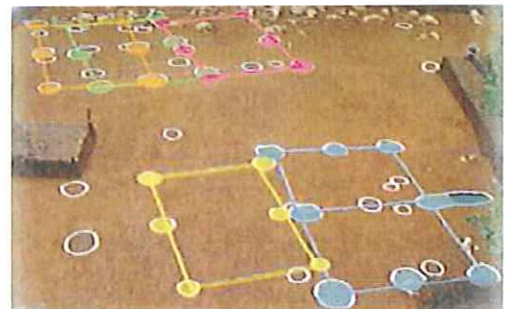
県内の代表的な集落遺跡としては、うるま市伊計島の仲原遺跡や宜野湾市喜友名のヌバタキ遺跡があります。



復元された竪穴住居(仲原遺跡)

○古琉球(12世紀～1609年)

グスクが築造され、三山時代、琉球王国の成立をへて1609年の島津侵攻までを古琉球といいます。この時代になると掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）と呼ばれる建物を作り始めます。これは、小穴を掘りそこに建物の土台となる石を入れ、その上に柱を立て、屋根を支える構造の住居です。この時代も茅などで屋根を葺いてました。代表的な遺跡としては、宜野湾市眞志喜の森川原遺跡などがあります。



発掘された柱の跡(喜友名前原第二遺跡)

○近世(1609年～1879年)

島津侵攻から1879年の琉球処分までを近世琉球といいます。この時代は琉球独自の文化が花開き、首里城やお寺などの屋根として瓦屋根が登場しました。しかし、庶民の住居は1889年まで住居に関する規制が行われ、掘立柱建物以外の住宅には住めませんでした。

○近代(1879年～1945年)

琉球処分から沖縄戦終結までを近代沖縄といいます。農村では未だに掘立柱建物の住居に住んでいました。首里や那覇は貫木屋（ヌチジャー）と呼ばれる、高床形式の構造の住居です。貫木屋の屋根は萱葺きから瓦屋根へと変化していきました。

もっと知りたい人は展示会を見にきてね！

◇期 間:11月3日(水)～12月27日(月)

◇場 所:宜野湾市立博物館 企画展示室

◇見学科:無料

◇関連イベント 《博物館市民講座のご案内》

☆宜野湾くらしのルーツ 【11月7日(日) 14時～16時】(予定)

☆宜野湾の湧き水 ※野外見学会【12月5日(日) 13時～16時】(予定)

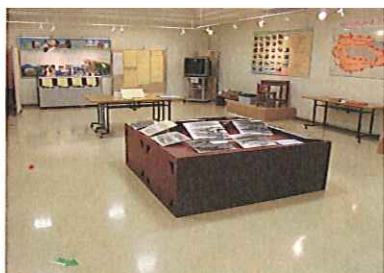
多くの方々のご来館を心よりお待ちしております。

～じの～ん どうーむら展(仮)～

現在私たちが暮らす「行政区」の前進が“字”(あざ)ということになります。宜野湾市には多くの“字”がありますが、戦後その形態は大きく変化してしまいました。

当館では、その“字”にスポットを当て、毎年市内の1～2の字を対象に「ぎのわんの“字”展」を開催してきました。4回目となる今回の展示会では、字宜野湾を取り上げ、その歴史や暮らしの様子を資料や写真、映像等を用いて紹介し、子供から大人まで楽しみながら字について学習できる内容にしたいと考えています。

ぜひ足を運んでみてください♪



▲第1回 入門編(08年)



▲第2回 真志喜編(09年)



▲第3回 伊佐編(10年)

☆第4回目の字展は「宜野湾」編となります!! ☆

現在、字で行われる行事に顔をだして写真撮影をさせてもらっています。これまでに慰霊祭と旧盆エイサーの取材を行いました。これからも2月の展示会にむけて、字宜野湾の行事へお邪魔させていただきます! 皆さん展示会を楽しみに待っていてください!



慰霊祭(はらからの塔)

字宜野湾の戦没者を供養するために立てられた、はらからの塔。
毎年、慰霊祭が行われています。



エイサーの道ジュネー(字宜野湾の青年会)

字宜野湾の青年会が踊るエイサー。旧盆入の日(ウンケー)に行われました。

◇期 間:平成 23 年2月2日(水)～2月 27 日(日)

◇場 所:市立博物館 企画展示室

◇見学科:無料

◇関連イベント 《博物館市民講座のご案内》

☆語やびら じのーんどうーむら

講師:宜野湾区の先輩方

日時:2月6日(日) 14時～16時

NEWS!!

博物館友の会発足にむけて!!

博物館友の会とは、博物館をより地域に開かれた施設にするために、地域の人びとと博物館が協力しあいながら博物館の運営を行うことができるシステムです。この度、宜野湾市立博物館も地域との連携を図るため、「宜野湾市立博物館友の会」を置くこととなりました。現在は準備段階ですが、今年度中に博物館友の会を設置するために、努力してまいります。続報をお待ちください!

友の会、会員募集中!

くわしくは博物館まで!



展示会・講座スケジュール



《展示会：児童・生徒、一般市民向け》

10月

【学校との共同企画展】10月1日(金)～10月18日(月)
～児童・生徒の夏休みの自由課題の発表～

『ぎのわんの文化財図画作品展』

移動展：市役所ロビー(10月20日(水)～10月28日(木))



11月

【秋の博物館特別展】11月3日(水)～12月27日(月)

『掘り出されたぎのわん昔の暮らし!』

○宜野湾市の遺跡から、私たちの生活のルーツを探り、紹介します。



12月

現在の生活と似て非なる
2000年前の生活とは?!

1月

【地域との共同企画展】2月2日(水)～2月27日(日)
ぎのわんの“字”展～宜野湾編～

2月

『じのーん どうーむら展(仮)』

○市民の地域学習と交流の場となり、児童・生徒が地域への愛着を育む企画展を考えています。

3月

《博物館市民講座：一般市民向け》

○市民が主役となる、自然・歴史・文化に親しむ地域学習の場!

◆ぎのわんの“見どころ”百選! [野外見学会]

講師：新垣 義夫(市立博物館協議会 会長)

日時：10月24日(日)13時～16時

◆掘り出されたぎのわん昔の暮らし!

講師：博物館職員

日時：11月7日(日)14時～16時

◆ぎのわんの“湧き水”! [野外見学会]

講師：博物館職員

日時：12月5日(日)13時～16時

◆組踊りと宜野湾の芸能

講師：宜保榮治郎(国立劇場おきなわ常務理事兼事務局長)

日時：1月16日(日)14時～16時

◆語やびら じのーんどうーむら

講師：宜野湾区の先輩方

日時：2月6日(日)14時～16時



◆対象：一般市民(申込順、定員・講座50名、野外25名)

◆受講料：無料(但し、野外観察会は保険料100円負担)

※常設展示室は休館日を除き、『無料』でご利用できます。

※行事の予定は、変更する場合がありますので、開催前に市のHPなどで詳しい内容をご確認ください。

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週火曜日 年末年始(12月29日～1月3日)

国民の祝日(文化の日を除く) ◆慰霊の日が開館

宜野湾市立博物館(〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1)

TEL：(098)870-9317

FAX：(098)870-9316

